

ピンクリボン in SAPPORO 2015

2015年7月19日(日)、中央区南1条西3丁目パルコ三越間のさっぽろホコテン内で開催された「ピンクリボン in SAPPORO 2015」に参加してきました。一昨年から引き続き、今回で3回目の参加となります。

当日の朝までは、台風(途中から熱帯低気圧)の影響で雨が心配されましたが、開催準備前には曇り空で心地よい風が吹く中での開催となり、多くの方に参加頂きました。

当院の乳腺センターからは、医師4名、看護師2名、検査技師2名(うち札幌病院所属1名)、放射線技師2名、事務系4名の計14名+タッピーで参加しています。

中央舞台では、札幌ドラムサークルによる参加者も一緒に打楽器を演奏する「輪になってドラムサークル」の演奏や、フメハナ・カ・ハレ・フラ・オ・マーヘアラニによる「ピンクリボンフラ」、札幌西ロータリークラブ合唱と素晴らしい様々なステージイベントが開催されました。イベントブースでは乳がん模型コーナーやボディージュエリーの展示実演が開かれていました。

今回、当院の研修医で柳谷先生が是非参加したいと申し出て頂き、東区マスコットキャラクター“タッピー”(たまねぎの妖精タッピー)とともに参加して、ドラムサークルやフラにも飛び入り参加、会場を大いに沸かせていました。



当院で準備したブースでは、触診モデルと昨年好評だった超音波検査装置を持ち込んで、後藤先生自作の人工乳房モデル(ファントム)を活用したエコー体験を実施しました。

多くの皆様に立ち寄って頂き、触診モデルに触れて頂きながら鎌田先生・後藤先生から自己検診法を説明、中野技師長から超音波画像を見ながら検査の説明や来場者にも超音波プローブを握って“しこり”に見立てたフルーツを超音波画像で探したりと好評でした。



用意した100冊の検診案内パンフレットは、来展者やイベント参加者にすべて配布することができました。

タッピーは、大量の汗をかきながら子供たちや外国人観光客に写真を撮られておりイベントの盛り上げに大いに力になっていました。乳がんの早期発見にむけた啓発活動に、来年も是非、参加していきます。

